

西多摩農業改良普及センターからのお知らせ

畜産農家がつくる「家畜堆肥」をもっと有効活用しましょう！



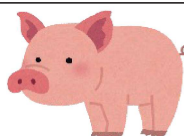
亀山 佳祐

畜産農家がつくる家畜ふん由来の堆肥は、作物への養分供給に加え、土壌の化学性・物理性・生物性を総合的に改善し、安定生産と品質向上に役立ちます。化学肥料価格の高止まりや環境に配慮した取組みの推進が続く今、身近で確かな堆肥を効率よく取り入れましょう。

■ 家畜堆肥の主な効果

土壌の改良	土がふかふかになり、根が張りやすい。また、保水性・排水性・通気性がよくなる。
作物の生育促進	N・P・Kに加え、微量元素も供給するため、肥料効果があるほか、地力も向上するため、長期的に収量・品質が安定する。
環境への配慮	化学肥料の使用量を減らせるため、コスト削減できる。また、土壌中の有機炭素を増やすため、温室効果ガス削減や気候変動対策など環境負荷の軽減につながる。
資源の循環	家畜排せつ物の有効活用により循環型農業の推進につながる。

■ 種類別の特徴(目安)

 牛ふん堆肥	繊維質が多く、有機物が豊富である。肥料効果は穏やかであり、土づくりに向いています。(野菜の場合:1～2t/10a)
 豚ふん堆肥	窒素・リン酸が多く、肥料効率が高いため、野菜や畑作の元肥に向いています。(野菜の場合:0.5～1t/10a)
 鶏ふん堆肥	窒素・リン酸・石灰が非常に多く即効性が高いため、元肥・追肥に向いています。(野菜 元肥の場合:0.3～1t/10a) ※施用量に注意

■ 西多摩管内の堆肥の販売農家を紹介

現在、西多摩管内では、9戸(4市町)の畜産農家が堆肥の生産販売を行っています。畜種も乳用牛、肉用牛、養鶏、養豚とさまざまあり、堆肥の攪拌装置や密閉型発酵装置といった機械を導入し、衛生面、臭気に配慮した良質な堆肥が生産されています。ぜひ近場という利点を生かしてご活用下さい。

また東京都では、「東京都堆肥ガイドブック」に、畜産農家が販売する堆肥の成分や販売額等の詳細を掲載しています。購入してみたい堆肥があれば普及センターへご連絡いただければお繋ぎすることも可能ですのでご相談ください。

